

## 実践『ペルソナ』通信 (No. 109)

# 「スマホのロック画面」に関する調査 Side-*Be*

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、女子大学生の「スマホのロック画面画像」についてアンケート調査を実施しました。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計学科（担当：竹内光悦）」のゼミ生を中心に組織され、実践女子大学生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を研究する研究会です。

※実践『ペルソナ』通信 Side-*Be*とは、写真観察を行い、実態を考察した調査レポートです。

### 総括

今回のフィールドワーク調査では人物画をロック画面に設定している人が多いことが分かりました。人物画では全身を映している画像や体の一部しか写っていない画像、画面全体に人物が写っている画像、上下や左右にスペースが空いている画像など様々な画面の魅せ方がありました。スマホのロック画面は生活の中で目にする回数が多いものであるため、各々の好きなものやその時にはまっているものを設定していると考えます。

### 調査結果のポイント

#### (1) 人物画では著名人の画像を利用している人が多い

人物画をロック画面に設定している人は、アイドルや俳優といった著名人が多いことが分かりました。そのなかで男性の著名人は半数を占めています。また、自己の画像を利用している人は背面からが多いことがわかりました。

#### (2) ロック画面に用いられているキャラクターには関連がない

キャラクターの画像を設定している人の中で、それぞれのキャラクターにはあまり関連がみられませんでした。あるキャラクターが女子大生の間で流行しているというよりは、個々の趣味に合わせたものであることがわかりました。

#### (3) 文字系や色・柄といった画像は少ない

文字や単色・柄をロック画面に設定している人は少数でした。文字をロック画面に設定している人は、短い文章ではなく、スケジュールのような画面一面を言葉で埋めている画像であることがわかりました。

#### (4) 自然の風景の画像を設定している人は少ない

風景をロック画面に設定している人が多くいましたが、その中で自然の風景を設定している人

は少ないことがわかりました。空や海などの自然のみを写している画像よりも屋内の風景や建物と一緒に撮られた風景などを設定する傾向があることがわかりました。

## 調査概要

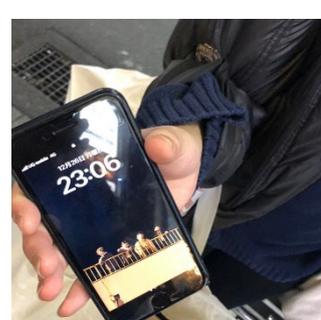
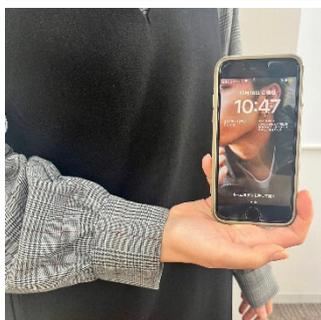
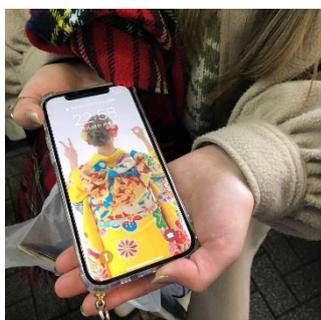
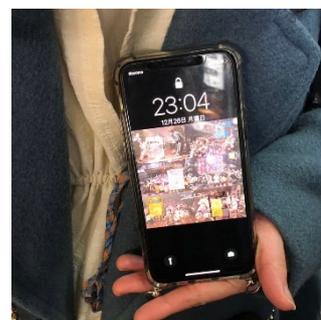
- 調査対象：実践女子大生（全学年、全学部）
- 調査方法：フィールドワークによる写真撮影および対象者観察
- 調査期間：2022年12月
- 調査場所：実践女子大学

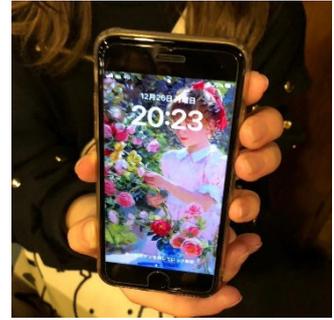
## 調査担当者

実践『ペルソナ』研究会 川崎梨恵・三浦未乃梨・山口瑞友・田中千秋

## 写真

### 【人物画】

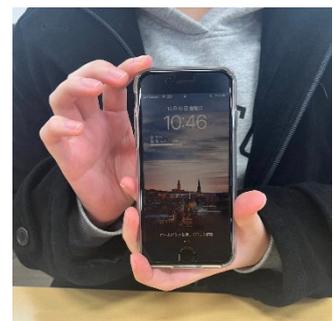




【キャラクター】



【風景】





【柄】



【スケジュール】



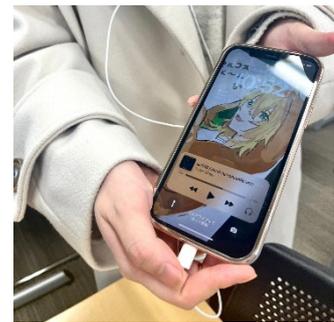
【色無地】



【動物】



【イラスト】



## 編集後記

今回の調査を通じてロック画面に使用するものはインターネット上の画像が多く自分で撮った写真や描いたイラストなどは少ない傾向があることがわかりました。また、A面調査では風景がをロック画面画像に設定しているという回答が多かったですがフィールドワーク調査では風景画像を設定している人よりも、人物画像を設定している人が多かったです。さらに設定画像に「被り」が見られないことから、A面調査結果より女子大生はスマホのロック画面画像が情緒に影響がある傾向があるので、好きな画像を使用していることがわかりました。

新型コロナウイルスの影響により、対面授業とオンライン授業といったハイブリット型授業の中でもたくさんの方々のご協力により、本調査を無事終えることができました。今回の調査の反省点を今後に生かし、より良い調査・分析を心がけていきたいと思えます。

改めて調査にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。